

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス アトリエさくら

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024 年

11 月

23 日

法人（事業所）理念		・みんなと違って一緒にじゃなくてもいい。・苦手なことがあっても大丈夫、それも自分の個性と思うことができるように寄り添います。・子どもと親の笑顔と自分を好きな気持ちを育てます。						
支援方針		・自分を好きな気持ちを育てる。 ・挑戦したい気持ちを育てる。 ・やりたいことはやってみる。						
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	・健康状態に気を配り、変化があれば看護師、家族、関連機関に連絡する。・口腔内機能、感覚に配慮し、本人に必要な支援を行う。・生活スキルで自立出来ていない技能が獲得できるように、環境の構造化や直接支援で自立出来るよう支援する。						
	運動・感覚	・心身機能の向上が出来るよう机上課題や、運動のプログラムを取り入れる。・日常生活に必要な動作の練習を行う。・保有する感覚を十分に活用できる遊びを取り入れる。・感覚の特性に配慮した環境調整を行い、本人の特性に合った支援を行う。						
	認知・行動	・本人の感覚を活用し、認知機能の発達を促す支援を行う。・環境から情報を取得し、行動に繋げる一連の認知過程の発達を支援する。・認知の特性を踏まえ、情報を適切に処理出来るように個々の特性に配慮する。・感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う。・意思決定できる自律に向けた支援を行う。						
	言語コミュニケーション	・具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつける等により、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援を行う。・相手の意図を理解し自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う。・個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、共同注意の獲得等を含めたコミュニケーション能力向上のための支援を行う。・環境の理解と意思の伝達ができるよう支援する。・特性に応じた読み書きの能力向上のための支援を行う。・様々なコミュニケーション手段を活用し、環境理解と意思伝達出来るよう支援する。						
	人間関係社会性	・身近な人と親密な関係を築き、信頼を基盤として周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。・遊びを通じて、社会性や対人関係の芽生えを支援する。・感覚機能を使った運動機能を働かせる遊びから、象徴遊びなどを通して社会性の発達を支援する。・並行遊びから協同遊びを通して社会性の発達を支援する。・自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。・集団に参加するための手順やルールを理解し、遊びや集団活動に参加できるよう支援する。						
家族支援		・子育てに関する悩みの相談援助・子育てや障害などに関する情報提供 ・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談援助、講座やペアレントトレーニングの実施			移行支援		・次の移行先に向けた調整や情報共有、受け入れ体制づくり。・将来的な移行を見据えた支援・並行利用先との支援内容の連携に関する相談の取り組み・進路や移行先の選択に関する本人や家族への相談援助	
地域支援・地域連携		・保育所等や学校等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助等の取り組み・保健師や医療機関等との情報連携や調整等の取り組み・相談支援や他事業所との連携			職員の質の向上		・毎日の振り返りにて疑問点や支援の確認を行う・オンラインセミナーの受講・専門職同士の連携を行い、各専門職の見立てを支援に反映する	
主な行事等		・外出行事（浅虫水族館、ワラッセ）・外での遊び（公園、雪遊びなど）・買い物外出・季節の制作作り						